

CONTENTS

はじめに	3
本書の読み方	5

第1章

天下統一

第1幕	すべてを「皇帝」の下に 始皇帝の中央集権政策	11
第2幕	焚書坑儒の真相 始皇帝の統一事業	23
第3幕	始皇帝、晩節を穢す 秦の対外膨張戦争	37
第4幕	死の巡幸 始皇帝の死	45

第2章

天下動乱

第1幕	王侯将相寧んぞ種有らんや 陳勝・呉広の乱 勃発	53
第2幕	囚人の兵 陳勝・呉広の乱 鎮圧	67
第3幕	爾に出づるものは爾に反る 乱後の新勢力・趙	77
第4幕	智囊現る 乱後の新勢力・楚	87
第5幕	後手の一撃 定陶の戦（項梁討死）	95

第6幕	懐王之約 楚の再建と趙の危急	107
第7幕	破釜沈舟 鉅鹿の戦	121
第8幕	往くも地獄、退くも地獄 趙高暴政と指鹿為馬	131

第3章

霸王誕生

第1幕	我が子房を得たり！ 関中を目指す劉邦	145
第2幕	跪く白装束 秦の滅亡	157
第3幕	関中王はいづれに 劉邦入関と法三章	169
第4幕	歴史を変える密告 鴻門の会 前夜	183
第5幕	豎子、輿に諮るに足らず！ 鴻門の会	195
第6幕	望み断ち切られし漢中王 項羽による論功行賞	207
第7幕	和氏の璧 張良が去り、韓信を得る	221
第8幕	主君殺しのツケ 齊・趙、項羽に叛旗	235
第9幕	国士無双、始動！ 韓信大將軍の誕生	245

第4章

楚漢戦争(前期)

第1幕	暗渡陳倉 三秦平定	257
第2幕	項羽の苛立ち 東征開始	265
第3幕	劫火に掬水 彭城の戦	273
第4幕	九死に一生 漢軍敗走	289
第5幕	罌缶の計 韓信北伐	297
第6幕	背水の陣 井陘の戦	305
第7幕	君子豹変す 滎陽の迷走	319

第5章

楚漢戦争(後期)

第1幕	天下事大定矣 滎陽の陥落	333
第2幕	印綬剥奪 成皋の陥落	345
第3幕	幼稚な挑発 成皋の奪還	355
第4幕	“命取り”の和戦両面外交 斉の攻略	365
第5幕	打てど響かず触れど届かず 項羽の二正面作戦	373

第6幕	舌戦の中の矢 広武山の両雄対決	389
第7幕	虎を養って自ら患を残す 楚漢、和睦と再戦	399
第8幕	猪武者の潰滅 垓下の戦	407
第9幕	四面楚歌 垓下包囲戦	415
最終幕	死に場所を求めて 項羽討死	425

Column コラム

発展段階論の罪	22
不死を願って寿命を縮む	36
胡亥は成人か年少か？	66
劇通の不幸	76
いろいろな「楚」	106
世間の評判と実楚	120
亡びるほんとうの理由	144
未熟だった秦法	182
暦の違いに留意する	194
「豎子」とは誰のこと？	206
優秀な部下は嫌われる	264
陳平、黄河を渡る	288
随何の機転	332
韓信の股くぐりの真意	354
城外の雑兵の罵詈雑言	364
項羽の“弱気”	388
偉人たちの若き日々	406
失敗の責任と成功の功績	438